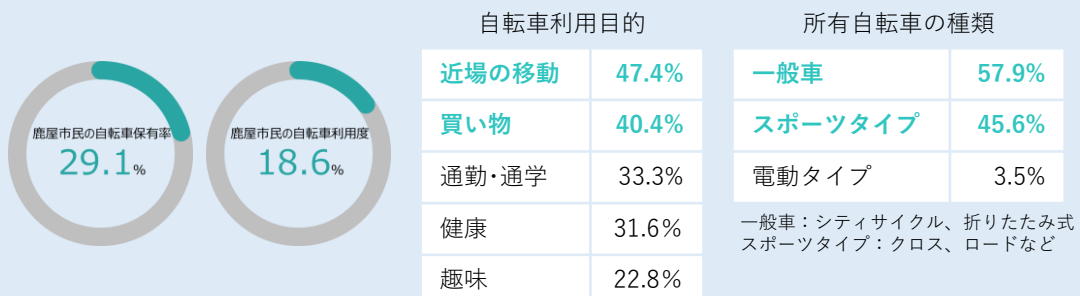


第2次鹿屋市自転車活用推進計画概要

本市の自転車施策の現状

1 自転車の利用状況

- 令和5年度に、自転車の活用に関する市民アンケートを実施した結果、「自転車の保有率」は、約3割、「自転車利用度」は、約2割でした。



2 CIEL BLEU KANOYA（シエルブルー鹿屋）との連携

- 本市に活動拠点を置く地域密着型プロサイクリングチーム「CIEL BLUE KANOYA(シエルブルー鹿屋)」は、地元小学校での自転車安全運転講習会や幼稚園でのストライダー体験会などを定期的に行い、サイクリングの普及や交通安全に関する活動に尽力しています。

自転車安全運転講習会



実施回数
16回 (R4)
市内小学校(12校)で実施
参加人数 1,418人

ストライダー体験会



実施回数
4回 (R4)
市内幼稚園やイベントで実施
参加人数 346人

3 鹿屋市サイクリストサポート施設の登録

- 観光消費の増加及び地域の活性化を図ることを目的に、サイクリストへの情報提供や物品等の貸出を行う「鹿屋市サイクリストサポート施設」の登録制度を整備しました。



サイクリストサポート施設

登録数
29施設 (R5時点)

4 サイクリングイベントの開催

- 本市では、毎年県内外から多数のサイクリストが参加するツール・ド・おおすみサイクリング大会など、様々なサイクリングイベントが開催されています。
- 令和4年度から、国内最高峰の自転車ロードレース競技選手・チームが参加する「JBCFサイクルロードシリーズ」の開幕戦を鹿屋市、志布志市、肝付町で開催しています。



ツール・ド・おおすみサイクリング大会



JBCFサイクルロードシリーズ開幕戦

基本施策

第1次計画 (R3~R5)

<目的>

健康・安全・環境・観光の分野において、健康づくりや自転車事故のない安全・安心な社会の実現、観光振興や地域活性化など、積極的に自転車を活用したまちづくりを推進する。

これまでの実績、アンケート結果等を踏まえ、第2次計画は第1次計画の目的を継承しつつ、より実現性の高い計画として策定しました。

第2次計画 (R6~R10)

脱炭素・健康 Decarbonization & Health

【目標1】

自転車を活用した健康づくりの推進

【指標1】

市民の自転車利用度 18.6%→20.0%

【基本施策】

- ◎自転車に触れ合う機会の提供
- ◎通勤等の自転車利用の推奨
- ◎自転車の社用車等への利用推進



通勤等の自転車利用



レンタサイクル

【目標3】

自転車を快適に利用できる環境の整備

【指標3】

レンタサイクル実施団体数 4団体→10団体

【基本施策】

- ◎快適な利用環境整備の推進
- ◎レンタサイクルの導入検討
- ◎自転車走行環境整備の推進

新◎霧島ヶ丘公園内管理道路等を活用したコースの検討

新◎サイクリングターミナルの整備に向けた検討

環境

Environment

安全・安心

Safety & Relief

【目標2】

自転車事故のない安全・安心な社会の実現

【指標2】

自転車交通事故件数 11件→0件

【基本施策】

- ◎ヘルメット着用促進
- ◎自転車安全運転講習会の実施
- ◎自転車損害賠償保険への加入促進



自転車安全運転講習会



サイクリングイベント

【目標4】

サイクルツーリズムの推進による観光振興と地域活性化

【指標4】

サイクリングイベントの参加者数 約2,000人→約4,000人

【基本施策】

- ◎サイクルツーリズムの推進
- ◎シエルブルー鹿屋と連携した大会等の誘致
- ◎サイクリングイベントの拡充

観光

Tourizm

